

市政に関する一般質問通告一覧

令和2年第10回半田市議会定例会

【日程】※日時は予定です。

日	時	質 問 議 員
12月1日（火）	午前10時30分～	1. 坂井美穂（公明党）
	午後1時00分～	2. 竹内功治（創造みらい半田）
		3. 水野尚美（創造みらい半田）
		4. 中川健一（維新・半田市民の会）
12月2日（水）	午前9時30分～	5. 伊藤正興（創造みらい半田）
	午後1時00分～	6. 加藤美幸（維新・半田市民の会）
		7. 鈴木健一（無所属）
		8. 山田清一（公明党）
		9. 石川英之（創造みらい半田）

12月1日（火）午前10時30分～

1. 12番議員 坂井美穂（公明党） 【一問一答】

1 子宮頸がんから命を守るための情報提供について

（1）子宮頸がんワクチン定期接種対象者への情報提供について

- ①半田市において、子宮頸がんワクチンの定期接種対象者と保護者に対する情報提供を現状、どのように行っていますか
- ②半田市における子宮頸がんワクチンの接種率はどれくらいですか
- ③子宮頸がんワクチンの定期接種対象者と保護者に対して、個別の情報提供を行うべきと思いますがいかがですか

2 がん検診受診率の向上と早期治療・重症化予防の取組みについて

（1）乳がんの早期治療・セルフチェックの啓発について

- ①40歳以上の方も正常乳腺が高濃度の方については、超音波検査を併用できるようにすべきと考えますが、どのように考えますか
- ②乳がんについて、セルフチェックを行っている人はどれくらいみえますか
- ③半田市においても、セルフチェックシートを配布することで、正しい乳がんのセルフチェックが手軽にでき、検診の重要性の普及啓発に繋がると考えますが、どのように考えますか

（2）胃がん検診における内視鏡検査の導入について

- ①直近の3年間の胃がん検査者数と要精密検査者数、精密検査で所見ありと診断された人はそれぞれ何人ですか
- ②胃がん検診の受診率を上げるために、国民健康保険被保険者で胃がん検診を受ける方に1,100円の補助をしていますが、補助以外で受診率向上のための取組みはありますか

か

- ③半田市においても、バリウム検査を受けられない方やバリウム検査を嫌厭している方でも受診ができるように、また、検査の二度手間をなくすためにも内視鏡検査を導入すべきと考えますが、どのように考えますか

3 認知症に対する不安のないまちづくりについて

(1) 認知症の方と家族に対する必要な支援について

- ①認知症の人が安心して暮らせる地域づくりの担い手である、認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チーム、認知症サポーター等がそれぞれの役割を機能させるために、どのように連携して、どのような取組みを行っていますか
- ②認知症高齢者捜索機器の貸出サービスを受けている方の内、介護医療サービスにつながない人はどのくらいいますか
- ③認知症の方が安心して外出できる環境を整えるため、家族に対する必要な支援として、半田市においても、個人賠償責任保険制度を導入すべきと考えますが、どのように考えますか

12月1日(火) 午後1時00分～

2. 7番議員 竹内 功治 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 子どもたちに対し、ワクチンの予防接種の推進と費用の助成について

(1) ロタウイルスのワクチンの予防接種について

- ①今年の10月からロタウイルスのワクチンの予防接種は定期接種になりましたが、周知は順調に進められていますか
- ②令和2年8月1日以前に生まれた子どもたちにも、予防接種の費用の助成等を実施するべきと考えますが、見解を伺います

(2) 子宮頸がんのワクチンの予防接種について

- ①国が積極的勧奨を中止してから、半田市の予防接種の接種状況はどのようになっていますか
- ②今まで予防接種による副作用の報告数と、重篤な症状の例の報告はどのようになっていますか
- ③全国で子宮頸がんの感染者数と死亡者数は増加傾向にあります。あらためて予防接種の情報提供や必要性について、検討するべきと考えますが、見解を伺います

(3) おたふくかぜのワクチンの予防接種について

- ①市内の予防接種の接種率と罹患率、また感染数等は把握していますか
- ②愛知県内の3分の1の自治体で、予防接種の費用を助成しています。予防接種のワクチンの有効性やその費用対効果は高いとされており、半田市でも予防接種の費用を助成するべきと考えますが、見解を伺います

3. 8番議員 水野 尚美 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 多様な性の理解促進と支援

(1) 性的少数者の方に対する支援について

- ①平成 30 年 6 月議会での L G B T 支援体制を問う一般質問の後、性的少数者の方に対する理解啓発をどのように進めているのか伺います
- ②当事者や家族が抱える困りごとなどを相談できる体制の整備が必要だと思いますがどのように考えていますか
- ③現在、どのような支援機関と連携していますか
- ④職員が多様な性に関してより理解を深め、適切な行動や対応をするために、どのような職員研修を行っていますか
- ⑤職員全員の共通理解を図り同様な対応をするために、職員向けのガイドラインが必要だと思いますがどのように考えていますか
- ⑥半田病院を受診、または入院する際、具体的にどのような配慮をされているのか伺います
- ⑦半田市が自治体として、誰もが自分らしく生きられる取り組みを積極的に行うことは必要だと思いますが、パートナーシップ制度の導入についてどのように考えていますか

(2) 教育現場の支援体制について

- ①児童や生徒が安心して学校生活が送れるよう、教育環境はどのように整備されていますか
- ②中学生の学生服の選択制について、どのように考えていますか
- ③多様な性の理解について、全ての教職員を対象に開催する研修が必要だと思いますがどのように考えていますか

4. 15 番議員 中 川 健 一 (維新・半田市民の会) 【一問一答】

1 半田らしさとは何かをふまえた、まちづくりに注力すべき

(1) 半田市のまちの個性は、歴史と文化が日常生活に生きているところ、祭礼に参加し、教科書で南吉文学を学び、今も使われる酢や酒の蔵は素敵だ

- ①赤レンガ観光拠点化事業は、半田市民の税金から約 25 億円で修繕し、運営費として毎年約 7,000 万円を使っている赤レンガ建物を、税金を支払っていない市外の方が訪れています。この事業のどこが半田らしさを磨くのか見解をお尋ねします
- ②半田運河活性化推進事業、一過性の賑わい作りのイベントに対し、税金から毎年約 2,500 万円を支出しています。どこが半田らしさを磨いているか、所見を伺います

(2) 赤レンガ建物は半田市の 4 大テーマから外し、半田らしさ、半田市民のアイデンティティとしては山車、蔵、南吉の 3 大テーマへ戻し、この 3 大テーマに選択と集中をすることが今後のまちの成長戦略

- ① 4 大テーマは全てが中途半端な現状です。山車会館もなく、蔵は取り壊しが続き、南吉は安城市にお株を奪われている状況です。この中途半端な状況で、四つ目のテーマとして平成 26 年に赤レンガ観光拠点化事業に着手、平成 30 年からは半田運河活性化推進事業もスタートしました。そして赤レンガ観光拠点化事業も、半田運河にぎわい事業もほとんど成果がありません。戦線を拡大し過ぎて、全てが駄目になっている、ここが榑原市政まちづくり戦略の大失敗であったと考えますが見解をお尋ねします

②赤レンガ建物は半田市の4大テーマから外し、山車、蔵、南吉の3大テーマへ戻すべきと考えますが所見を伺います

2 景観まちづくりの抜本的な見直しが必要、半田らしさを形にしたもの、まちの顔や魅力の体現が景観

(1) 景観形成重点地区である岩滑地区と亀崎地区の景観形成が遅々として進まないのは都市計画課の仕事の進め方がまずいからではないか

①令和元年実施の半田市議会事業評価で、都市計画課の景観に関する啓発事業は100点満点の25点、遅れている、と言う評価でした。その後どのような改善をしましたか

②令和元年の景観修繕補助金実績が0件でした。ところが事務事業評価の都市計画課自己評価は5段階評価の真ん中、C評価、課題や取組や目標は概ね達成されている、とのことでした。この評価は世間の常識からはかけ離れていると考えますが所見を伺います

(2) 遅れている景観形成を挽回するためにも、建築物修繕の予算を増額する必要がある。3か年実施計画では令和3年度は3件360万円、令和4年度、令和5年度は5件720万円と控えめな額だが、いつになったら魅力ある景観ができるのか

①平成22年4月に半田市ふるさと景観計画を策定し、すでに10年が過ぎています。岩滑地区、亀崎地区ではこれまでそれぞれ何件、それぞれ合計いくらの補助金を建築物修繕に支出しましたか

②景観計画に記載のイメージである街並み景観に到達するには岩滑地区、亀崎地区それぞれ残り何件の建築物の修繕が必要ですか。いつまでに達成予定ですか

③平成26年9月に半田市議会建設産業委員会は、JR半田駅前を和の香りで統一し、景観協定を締結するなど春扇楼末廣をまちのシンボルとして活用するように提言をしました。ところが未だに実行されていません。なぜでしょうか。この間、日の出食堂は解体されてしまいました

④令和2年11月11日に公表された3か年実施計画には、無電柱化に3年間で亀崎地区に1億4,110万円投資することとなっています。一方で、景観形成の助成金は3年間で2,120万円です。景観にとって無電柱化は有用と思いますが、亀崎地区においてはまずは建築物の保存や修繕をしなければ、建築物が解体されれば、無電柱化を進めても効果が激減します。予算の優先順位がいかがなものかと考えますが、所見を伺います

⑤このように杜撰な都市計画課の景観形成推進事業に関する3か年実施計画をとりまとめた企画課の見解をお尋ねします

3 土地利用計画や都市計画の方向性は時代に逆行しているが大丈夫か

(1) 半田市人口ビジョンによる2,060年に人口が2万人減少し、10万人となり、平成30年住宅土地統計調査では、市内13.2%が空き家であることをふまえ、いたずらな規模の拡大や、まちの拡散は行わず、コンパクトシティ化を進めていくべき

①平成22年に策定された都市計画マスタープランでは「集約型都市構造への転換」と言うコンパクトシティの哲学が13ページに記されていました。また市議会にて市長はコンパクトシティを目指すとこれまで表明しています。ところが現在改定中の都市計画マスタープラン(案)には、コンパクトシティに関わる表現がありません。コンパクトシティをやめるのなら、やめると理由を説明すべきと考えますが所見を伺います

(2) 地球規模で環境問題や食糧問題が明らかとなっている中、市街化調整区域内にある農地や里山、その良好な農村景観を守るのは私たちの生活と心の豊かさに必要なことだ

①令和2年11月11日公表の3か年実施計画の説明で、石塚町に工業団地を造成するとの説明が企画部長からありました。優良な農地を工業用地へ変えることについて、緑が失われることによる潤いや心の豊かさの喪失と企業誘致による目先の雇用と税収増をどのように比較考慮しましたか

②現在改定中の都市計画マスタープラン(案)には「新たな市街地の形成」とあります。市内の約13.2%が空き家となっている上、2,060年までに人口が2万人減少します。新たに市街地が必要な理由をお尋ねします

12月2日(水) 午前9時30分～

5. 10番議員 伊藤 正 興 (創造みらい半田) 【一問一答】

1 withコロナとアフターコロナにおける経済振興

(1) 今、取り組むべき課題について

①現状の市内の経済状況をどのように認識していますか

②事業者の声や要望は、届いていますか

③地域経済の活性化のため、今後、新たな事業やプロジェクトを検討していますか

(2) GoToトラベルキャンペーンとGoToEatキャンペーンについて

①GoToトラベルキャンペーンで、市内の観光施設を訪れた人数と地域共通クーポンの利用実績を教えてください

②GoToEatキャンペーンに関して、市民へのPRはどのように進めていますか。また、活用されていますか

③withコロナのなか、半田市PR大使が半田市の知名度向上やイメージアップのため、どのように発信してきたのか具体的に教えてください

④全国の自治体は、市外から自分たちの街に来てもらうために、SNSやYouTube等を活用してPRをしていますが、半田市はどのように進めていますか。また戦略を教えてください

⑤半田市における現時点でのGoToキャンペーンの評価をどのように判断していますか

(3) アフターコロナに向けて

①半田市にゆかりのある人達で、市内の観光や飲食店をPRする「はんだ観光大使」の創設を提案しますが見解を伺います

6. 14番議員 加藤 美 幸 (維新・半田市民の会) 【一問一答】

1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえた新たな災害避難と支援のあり方について

(1) 災害時における避難所および避難所外での避難者への支援策について

①市は新型コロナウイルス流行前と後で、市民の防災減災、および避難への意識の変化をどう把握していますか

- ②コロナ禍により避難所運営や、在宅や車中・テントなど、避難所外避難者への支援策がどう変化しましたか
- ③避難所避難者や避難所外避難者への支援について、市、自治区、地域の防災組織の役割をどう考えていますか
- ④被災時において、避難者への確実な情報伝達手段はどのようなのですか。また、避難所外避難者の増加が見込まれる中、水や食料、物資などが届くのか、情報や救援の声が届くのかを不安に思う市民が多くいますが、被災者からの救助や支援の要請などは誰がどのように受け止め、対応しますか

12月2日（水）午後1時00分～

7. 5番議員 鈴木 健一（無所属） 【一問一答】

- 1 身寄りのない生活困窮者の住まいの確保と死亡後の対応について
 - (1) 生活困窮者の住宅確保について
 - ①身寄りのない単身高齢者の住まいの確保についてどう考えていますか
 - (2) 身元保証への不安について
 - ①半田市の身元保証の仕組みはどうなっていますか
 - (3) 生活保護行政の対応について
 - ①生活保護利用者が死亡したときの遺品整理等のルールはどうなっていますか
- 2 新型コロナウイルスに対するPCR検査の実施について
 - (1) 高齢者等を対象とするPCR検査の体制について
 - ①半田市において、高齢者等を対象とするPCR検査を実施する考えはありませんか

8. 11番議員 山田 清一（公明党） 【一問一答】

- 1 災害情報の伝達強化のために
 - (1) 市民への災害情報伝達について
 - ①ひとり暮らし高齢者など情報弱者といわれる方々への情報伝達の現状と課題をどのように認識していますか
 - ②ほぼ市内全域をカバーする防災行政無線は、どのような経緯で導入されましたか
 - ③総務委員会の決算審査において、「戸別受信機（防災ラジオ）を本市において導入するためには、市内全域をカバーするため電波塔の改修が必要」との事ですが、概算金額でいくら必要ですか
 - ④ひとり暮らし高齢者など情報弱者は何世帯と想定できますか。また、戸別受信機（防災ラジオ）を導入した場合、受信機1台の価格及び情報弱者の世帯へ配布した場合の総額予算はいくらになりますか
 - ⑤市民の命を守る戸別受信機（防災ラジオ）の導入について、見解を伺います
- 2 半田市立図書館の今後に向けて
 - (1) オンラインデータベースについて
 - ①大府市や安城市の図書館に導入されているパソコンを使い「新聞記事」や「官報情報」

などを簡単に検索できるオンラインデータベースを導入できませんか。また、現在まで導入できていない理由は何ですか

(2) 書籍消毒機・ブックシャワーについて

①「書籍消毒機」「ブックシャワー」をどのように認識していますか。また、近隣市町の導入状況をお尋ねします

②書籍を風と紫外線により消毒・殺菌・消臭、ほこりや髪の毛、ダニを除去する「書籍消毒機」「ブックシャワー」を導入してはどうですか

(3) 雑誌スポンサー制度について

①新たな財源の確保とともに、地域経済の活性化の一助となる雑誌スポンサー制度は、現在どのような状況ですか。また、今後どのように推進していきますか

②新たにパンフレットラック事業も導入してはどうですか

9. 21番議員 石川英之（創造みらい半田） 【一問一答】

1 榊原純夫市長の市政運営について

(1) 第6次総合計画の評価について

①市民評価委員会における評価はどのようなでしたか

②市長自身はどのように評価していますか

(2) 3期にわたる榊原市長の市政運営について

①榊原市長の1期目就任当初と現在の3期目における市政運営に対する姿勢について、就任当初と変わりはないのか、それとも、社会情勢等の変化を踏まえ変化してきましたか

②就任以来榊原市長が市政運営を通して築いた実績は何ですか

③今後の社会情勢を見据え市政運営にとって特に重要と考えることは何ですか